

'71

会報



THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 604 号

1971.5.25 (火)

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ☎ 5775

四つのテスト

—言行はこれに照してから—

1. 真実か、どうか
is it the truth?
2. みんなに公平か
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
will it build goodwill and better friendships?
4. みんなのためになるかどうか
will it be beneficial to all concerned?

「隔りを取り除こう。」

出席報告

本日の出席 会 員 数 62名
出 席 数 47名
出 席 率 75,81%

欠 席 者 荒明君、安藤君、長谷川(文)君
長谷川(悦)君、早坂(徳)君、
橋浦君、平田(圭)君、石黒君
五十嵐(一)君、黒谷君、小花君
金野君、三井(徹)君、齋藤
(信)君、佐藤(忠)君

前日の出席 前日出席率 58.06%
修正出席数 51名
確定出席率 82.26%

マークアップ 五十嵐(伊)君一酒田 RC
藪田君一温海 RC
阿部(公)君、安藤君、早坂
(源)君、金井君、黒谷君、三
井(賢)君、三井(健)君、廖君
佐藤(昇)君一鶴岡西 RC
張君、小花君、嶺岸君、三井
(徹)君一オーストラリア

ビジター 五十嵐卓三君、帯谷義雄君、
松田善三郎君、菅原年雄君
一鶴岡西 RC

ゲスト 鶴岡労働基準監督署長
津野尾 勲 氏

本日のゲスト津野尾勲氏の紹介

小野寺 清 君

鶴岡労働基準監督署長の津野尾勲氏は10年前に鶴岡労働基準監督署の第一課長として在任されたことがあります。労働基準行政に従事されること24年で東京の出身であります。

最初に山形労働基準局にお勤めになり、それから最近は、こちらに赴任前まで村山労働基準監督署長の職にあり、4月に鶴岡の所長として赴任なされた方であります。

その24年間の山形でのお仕事では、特に労働賃金の問題、それから労働災害に関することの2つで、仕事に精通された方です。今日お願いいたしますテーマは、労働賃金の推移その他の諸点についてお話を15分間にわたり承ることにいたします。

よろしくご静聴をおねがいします。

労働賃金問題について

津野尾 勲 氏

10年ばかり前に、当地で3ケ年ほど勤務させていただきました。お顔見知りの方もいらっしゃるかと思います。この春再び当地に

会報はご家族みんなで読みましょう

参りましたのでよろしく願います。

私は24年のうち12年間賃金の問題に従ってまいりました。仕事の主たるものは賃金に始まり、賃金に終ると云ってはいくら業務の内容が賃金の問題で山積しておりますのでこの機会を利用していただいて、業務の一端を御披露し、併せて皆様何かのご参考になれば幸に存じます。

今般ご存じのように1万5千円の要求を掲げて春斗が始まったのですが、私鉄大手の9千7百円の妥結と、更に公労委の仲裁々定が、近く9千3百円程度出ようという時期に当たり、大体春斗を終熄したかにみえるわけがあります。

ひるがえって私共管内の賃金事情をみますと、私の適用事業場は、鶴岡労働基準監督署管内とし鶴岡市、東、西田川郡の間に4千5百の事業場がございます。労働者が約3万8千人、従って一事業場あたり8人程度といういわば零細企業が圧倒的に多い管内であります。従いまして、先程申し上げた春斗の賃金のようなものとはおよそかけはなれたのが実情であります。

唯賃金というのは、御存じのように一般的に需要、供給のバランスによって決められる。要するに求人申込数と、求職申込数の如何によって決められるものであります。

因みに全国的な数字を申し上げますと、昨年(45年度)の一般の労働者の求人の倍率は1.4倍、賃金139.8%の指数を占めておりますので同率となっております。これは全国的な一般的な労働者のことで、今日の一部新聞記事にもありましたように、中高年令者の再就職者については極めて悪い。即ち先程申し上げたことは逆に、求人が少なく求職者が多いという現象下にあります。こういう場合には先程の需用供給のバランスから云うと逆に賃金が低くなっております。停年退職し、その当時10万円位もらっていた方が、再就職で安定所の窓口に行ったら就職した実状をみますと約3万円位の賃金でしか雇れないというような実情であります。こういうようなのは例外かもしれませんが、一般的には、まだまだ最近の経済の不況にも係らず、賃金の動向は求人側の方が多く求職者が少ないという事情下にあります。

それから新規卒者、中学校とか高校の卒業生については、極めて求人者が多く求職者が少ない実状です。45年度は中学卒業生が5.8倍、高校卒業生が7.1倍というような比率となっております。

従って賃金も、初任給がぐんと引き上げられるという実情、即ち需要供給のバランスによって賃金が決まるというのであります。後刻

時間がありましたら、県内の特に鶴岡管内の安定所からおききした資料による数字なども説明申し上げたいと思います。

そのほか、一般に賃金と申しますと、労働者の生計をまかなうものが最低でなければなりません。労働者の生計費といえますと、消費者物価指数とか、勤労者世帯の収入支出調査とか、人事院の勧告の18才の独身成年男子のマーケットバスケット即ち市場で買える物価で生計費を出すというような算定とかいろいろあって、そういう労働者の生計費を基準にするのです。更にその管内の近くの類似の労働者の賃金、これは毎月労働者が調査している毎月勤労統計などで出ております。それから最後に、その事業場の支払能力というもので賃金は決められると原則的にはなっております。

しかしながら、実際問題として、これ以上の要因が賃金に働きかけております。その大きな要因の一つは、その労働者のその事業場の一労働者当りの付加価値生産性即ち生産額から原材料を差し引いて得た額であります。ある原材料を工場に持ち込んで、それを加工して変造して販売精算をする。その間に付加された生産性であります。それから労働力の不足によって勿論初任給が上がってくるという初任給の上昇、それから冒頭に申し上げました賃金斗争といったもの。それから最後には、好むと好まざるに係らず最低賃金制によってです。

最低賃金が決められ、それ以下では人が雇えないという賃金、それと企業の資本金と云いますか、賃金を規模別に調べてみると賃金の格差が数段ちがって出ております。いわゆる賃本力が賃金の決め手になってきている訳であります。

これらについて一つ一つ、数字をあげて説明していきたいと思いますが、それと私共の仕事の上で(これは皆様方には一番関心のあることと思いますが)どういう関係で、賃金問題が労働基準監督署の窓口にあがるかということを具体的な例について申し上げます。

先ず問題になっておりますのは、いつも私共の窓口相談にき、申告には、それから投書がある、また私共法律に基づく事業場の中に立入り監督をする。そういう結果把握された賃金の不払ですが、これが遺憾乍ら県内において鶴岡管内がトップであります。数字で申し上げますと山形県全体で、僅なものですが27万8千円(3月末現在)対象労働者が約900名そのうち鶴岡管内で把握された分が25万4千円で金額にして91%で圧倒的に多いのであります。即ち金額の殆んどが鶴岡管内であると

いっても過言ではありません。

労働者数にして720名の賃金の不払になっているわけでありませぬ。それが大工さん、農家の方で農閑期などを利用して出かせぎに行っています。この出稼ぎ労働者の賃金について調べますと県全体で360万円になります。そのうち鶴岡管内では37万3千円で10%程度の賃金不払が申告を受けて、夫々出稼先の監督署に照会しております。主として東京、神奈川、千葉、それから埼玉、茨城こういふところに出稼に行っている方の賃金不払であります。37万3千円と申しましたが、対象者は僅か7名で、金額的には多いと言えます。

そういうような賃金不払の申告が鶴岡監督署ではとても多いというので一人が専属にかりきりになっている状態でもあります。これは必ずしも、鶴岡管内だけが不景気だからというのではないので、この賃金不払が91%あると申しましたのは、ある特定企業の退職金不払が多くをたてるのであって、一般的な賃金不払とはちがうわけです。しかしこの会社自体はつぶれたわけではなく未だ操業を続けておりますので、何等か解決はされるではないかという風に期待をしております。

それからそういうような賃金不払事件と関連して、賃金がきめられて労災保険料を事業主の方がお支払になります。その労災保険料の基礎に賃金になるのです。その保険料賃金には全国一率の料率によってきめられた数値を乗じて出すということになっております。その保険料は鶴岡監督署管内でこの一年間の労災保険料が1億6千万円です。給付された額が1億円となっており約62%の収支率をためております。これは県内からみますと、山形、米沢、鶴岡、酒田、新庄、村山と6つの監督署管内のうち、3番目の鶴岡管内の労働者数からみて尻から2番目位で保険料も低いということで、これは賃金も低いということになるのではないかと思います。

それから保険料のことですが、一日当り労働者の賃金が、例へば1,000円である。あるいは900円である、あるいは600円とか700円という賃金で労災の怪我をした請求が出て参ります。

ところが昨年(1970年)の10月労災保険法が大巾に改正されて、給付の請求は最低が770円という風に法律で規正されました。従って現在の賃金が仮に700円でも650円でも、補償は770円ですという風になっております。ですから賃金の低い人はその分だけ救われるという風になる訳であります。

そういうような労災との賃金との関係がございます。

それから最低賃金のことですが、山形県内

で最低賃金法による法律で強制される最低賃金が、6業種あります。木材、木製品、家具、家具、家具製造業これが最低賃金680円、食料品製造業、これが最低賃金800円、機械、金属製品製造業850円、窯業、土石製造業880円、自動車整備販売業これが850円、繊維製品製造業、これが830円、以上の6業種であります。このように賃金が、どうして業種によってちがうかといいますと、最低賃金を決めるについてその業種全般の賃金をしらべた結果企業の支払能力などを勘案して、公労使の意見をもとめ、これを法律で強制されるというわけでありませぬ。

御説明しましたように木材木製品製造業が680円の最低賃金で雇用することはできませんが、それ未満の賃金では雇用出来ません。ところがその人が怪我をすれば770円の補償を受けられるので、最低賃金は早晚この680円の賃金は木材木製品製造業では改訂されるのであろうということが言われます。

山形労働基準局では、現在山形県内一率の最低賃金の調査に取りかかろうとしております。そうしますと、あらゆる業種を含めて、賃金の額が決められてくるということで、労働者の賃金の底が支えられるということになるわけでありませぬ。

それから労災保険の話に戻りますが、不幸労働災害で指を一本負傷して切りとられたとか、或は腕をもがれた、足をもがれた、あるいは死亡したという場合に、その労働者の賃金が遺族に対して一生かかってくるのです。

例えは亡くなられた夫の労災保険の年金がその労働者の日給を1,000円としますと、その365日分即ち365倍したものの、奥さんが40才未満、50才以上、55才以上で年金が異なりますが、最低は30%、35%、40% (55才以上が40%)の年金が出ます。即ち1,000円×365×0.4という風になります。しかし、それでは余りにも低いということで、民事訴訟による損害賠償請求が提起されるという例が多々あります。ホフマン方式で、主人が生きておいたら何年後まで働ける。その間取れるであろう収入から生計費を除き、そしてそれだけの損失をして、労災の年金がこれだけ貰えるから、差引きいくらいくら損害賠償として支払ふという訴訟も持ち込まれております。

先程労働生産性が低いと申しましたが、山形県は全国の例からみますと約半分になっております。ところが、山形県は生産性が半分にも係らず、賃金は必ずしも低くないという。そういったアンバランスもありません。先程申し上げた需要供給ばかりでなく、そういう外的要因が多々にあるということが、その辺からも言えるのではないかと思います。

それから職業安定所からいただいた資料ですが、鶴岡管内で、46年3月の求人申込のあった例をみますと、(見習い)中卒者で初任給が2万5千円、高卒で2万6千9百90円、それから女子は、中卒で1万5千2百50円、男子が2万4千2百円となっております。それが山形の場合は、中学男子が2万5千円、高卒が3万1千円です。鶴岡とは相当の開きがあります。女子は中卒が2万4千円で大分開きが大きくなっております。高卒女子は3万円でこれも大きい開きです。

時間の都合で、充分にお話することが出来ませんが、監督署にはいろいろな資料が整っておりますので、いつでもお問い合せをお願いします。どうぞ監督署を御利用ねがいます。賃金のことを話すことになっておりますが充分に言い尽せなかったことをお詫びいたします。

三井賢二君

6月8日夕方新旧役員会を開催いたします。時間は未定で場所はひさごやで行います。詳細は決定次第御連絡申し上げますので関係者の出席を要請いたします。

オーストラリア、ストウエル ロータリークラブ訪問記

張 紹 淵 君

このたびストウエルロータリークラブを訪ねまして、会長をはじめ会員の皆様から大へんお世話になってきました。向うでは大へん歓迎していただきました。

4人で向うに参りました。向うについたトタン新聞記者がきました。スケジュールは先方では決めておりましたが、こちらではしなかったもので、一番まいったのは挨拶するに皆英語でやらなければならないので、おいつめられた感じがしました。先方では私共の訪問が新聞のトップ記事に載ったようでありませぬ。

またストウエルには3日間泊りました。2日目は朝から見学で、羊の牧場とか、農作のところとか、有名な山をみてきました。またシャンペン会社や羊の飼っているところなど見て廻りました。親切で互れり尽せの歓迎でありました。

翌日は市長のレセプションにあたり、お宅では歓迎会バビキューパーティーをやったりしました。

第3日にはロータリーの総会があり、その会は女性の方は参加しないのでした。(女性

が参加するのは年に1~2回の特別の会合で1時間位とのことでした)その日は大変な盛会で、6時半からはじまり、夜11時近くまでかかりました。

私は前からつくっていた鶴岡の四季としてスライドをみせたり、説明をいたしました。

それから私が与えられた話を40分間させられました。そのスライドをみせながらロータリーとはどんなものか、僕達がロータリークラブをつくるときに、僕達はまあまあロータリーのことは理解しているが、一般の庶民はロータリーはどんなものであるか、またロータリー奉仕はどんなものであるかということがよくわからないので、僕等はそういうところに大きなPRをしなければならんではないかということ。そういうPRをするには、5つの世界の平和のテストとはこういうものだというようなことをしゃべってみました。

いろんなことで非常に歓迎されたことと、無事に4人が帰ったことを報告いたします。

短 信

さきに藍綬褒章を授与されました男網末松会員の受賞記念パーティが、5月24日山王閣において盛大裡に挙行されました。

幹事報告

会報到着

天童RC、白鷹RC、石巻東RC
地区大会案内(第360地区)

10/2 10/3 長野県諏訪市

申込5月末まで

理事会開催

6/1 11時より 当例会場において

定例理事会